

令和8年度

業務説明書

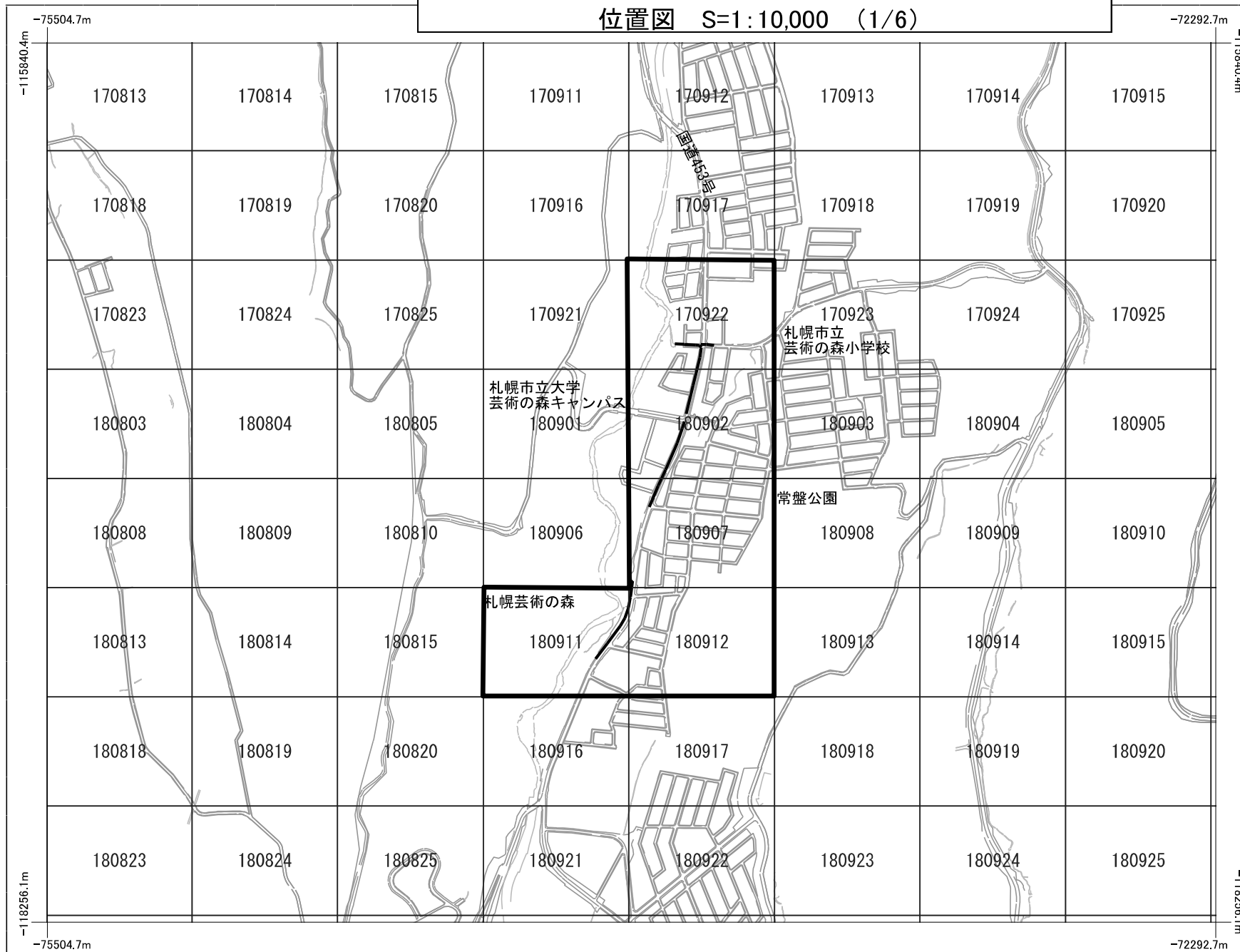
役務名：国道453号（常盤3条1丁目）ほか大口径管調査業務

令和8年6月単価適用

札幌市下水道河川局事業推進部

国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

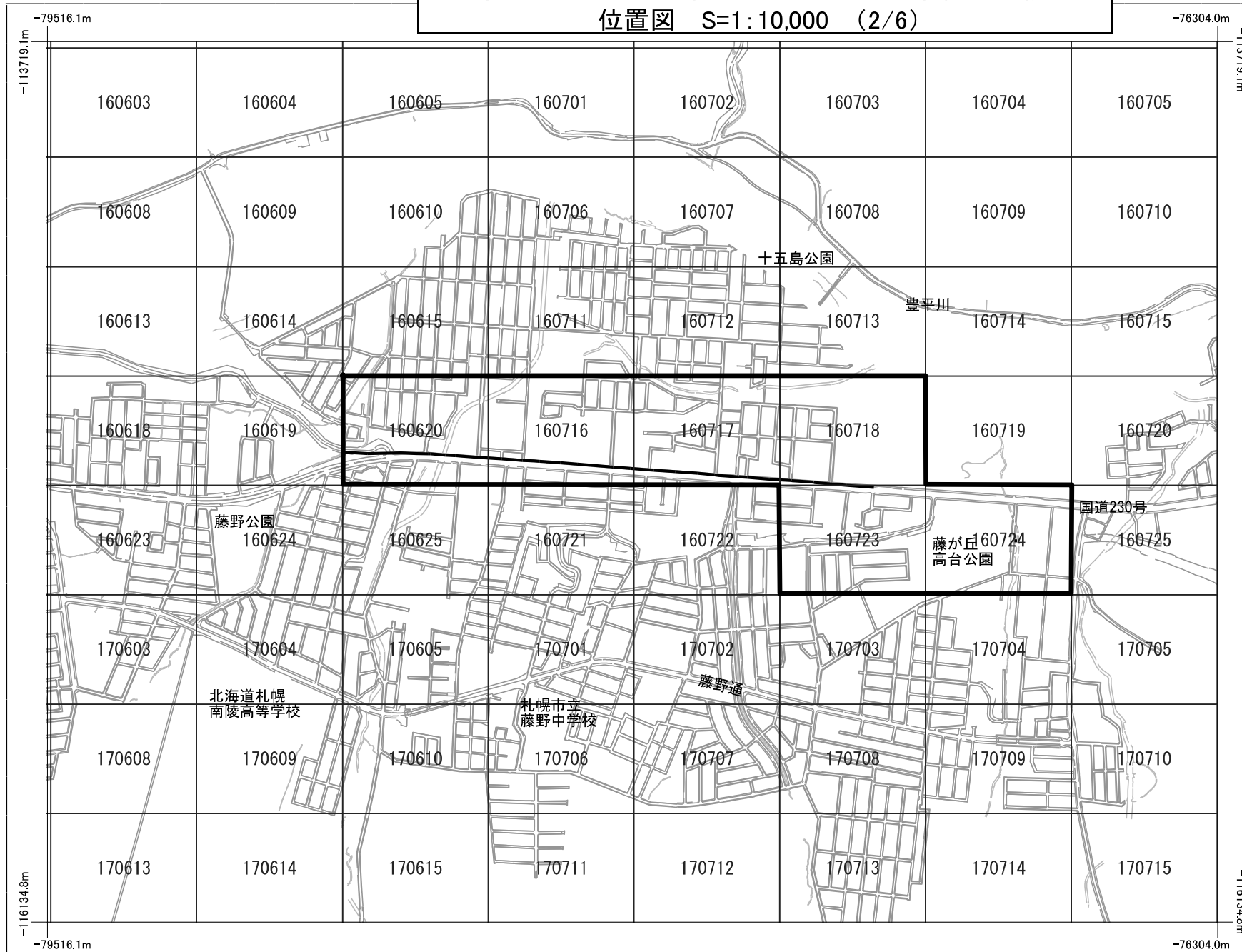
位置図 S=1:10,000 (1/6)



0 1:10000 700m

国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

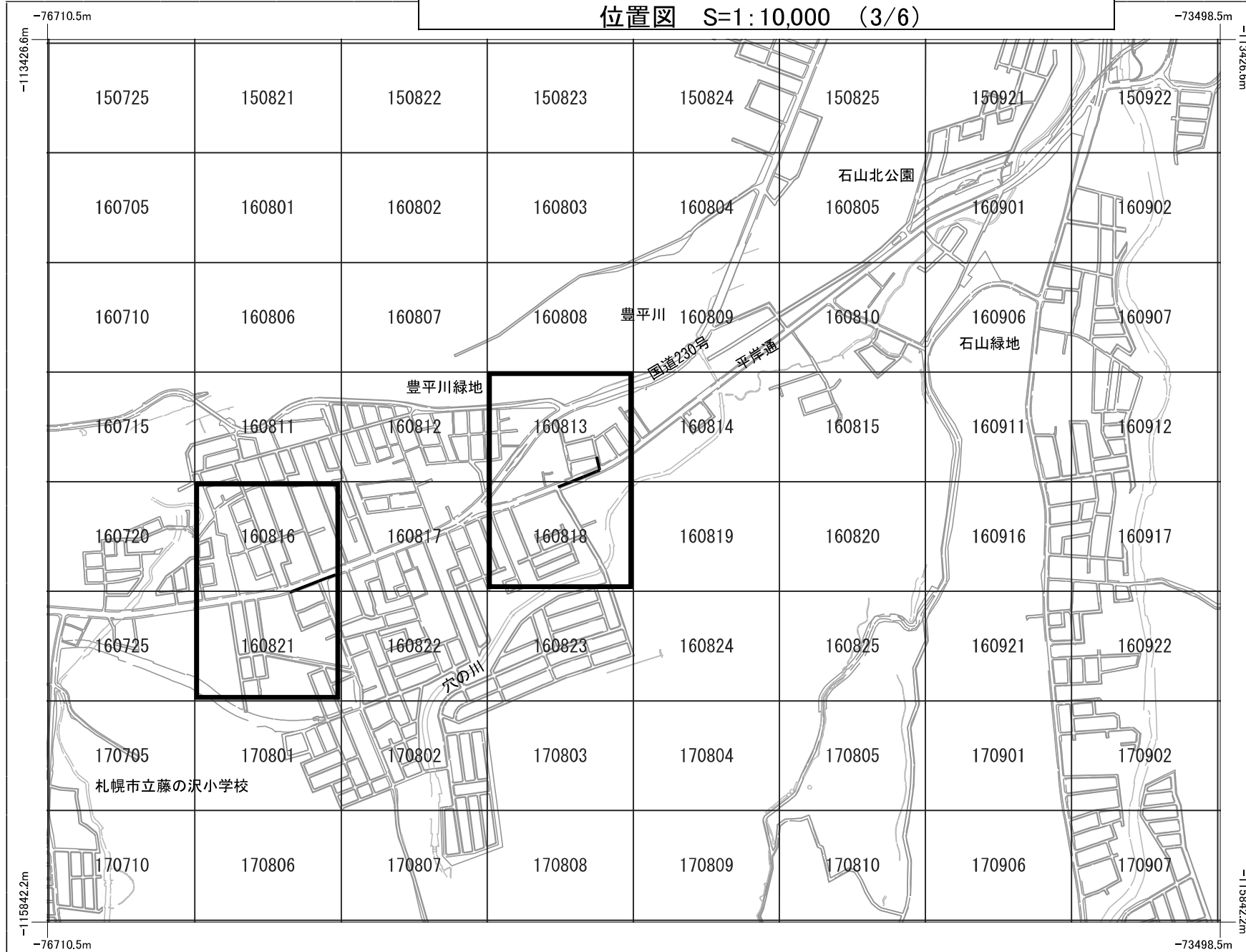
位置図 S=1:10,000 (2/6)



0 1:10000 700m

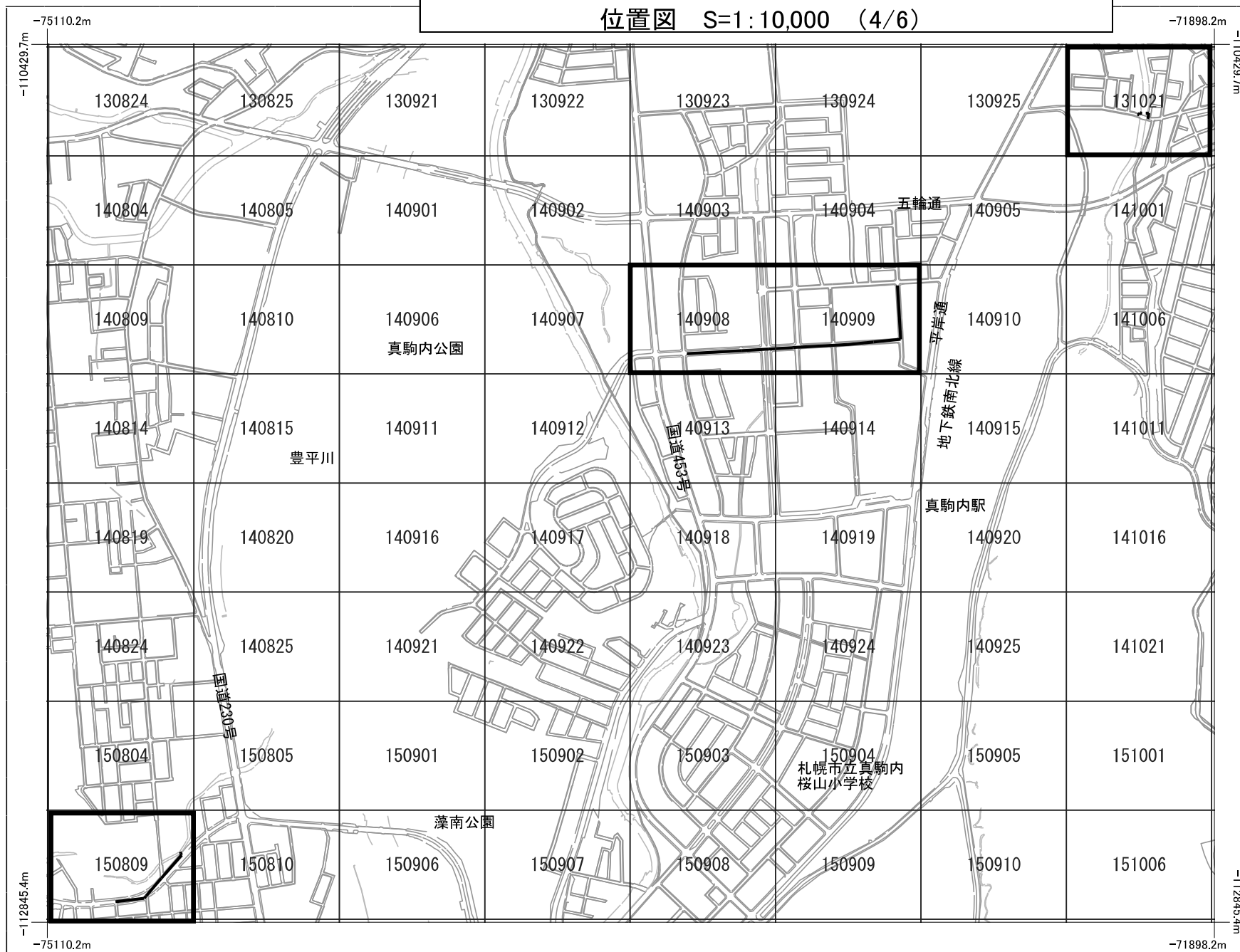
国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

位置図 S=1:10,000 (3/6)



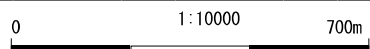
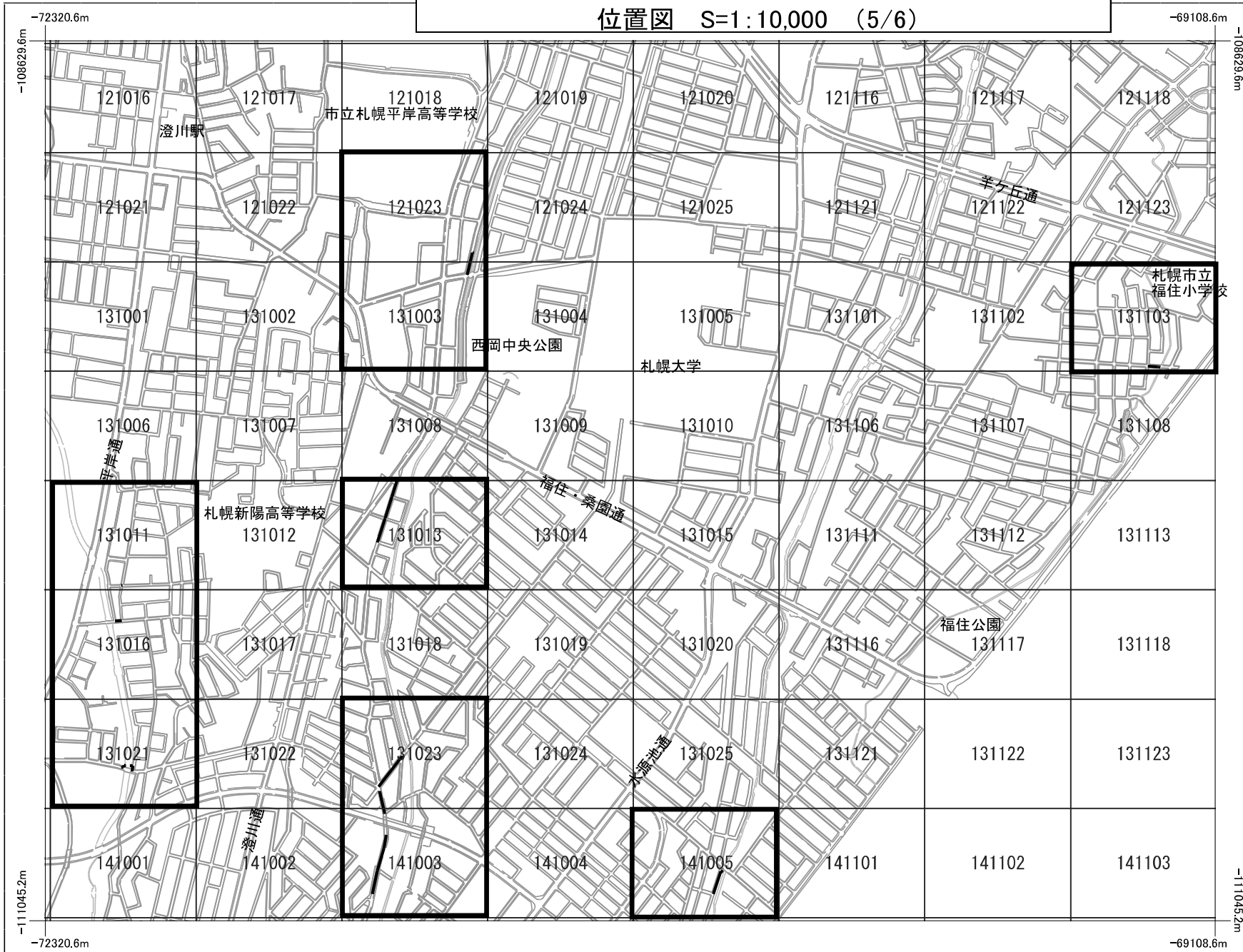
国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口徑管調査業務

位置図 S=1:10,000 (4/6)



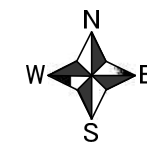
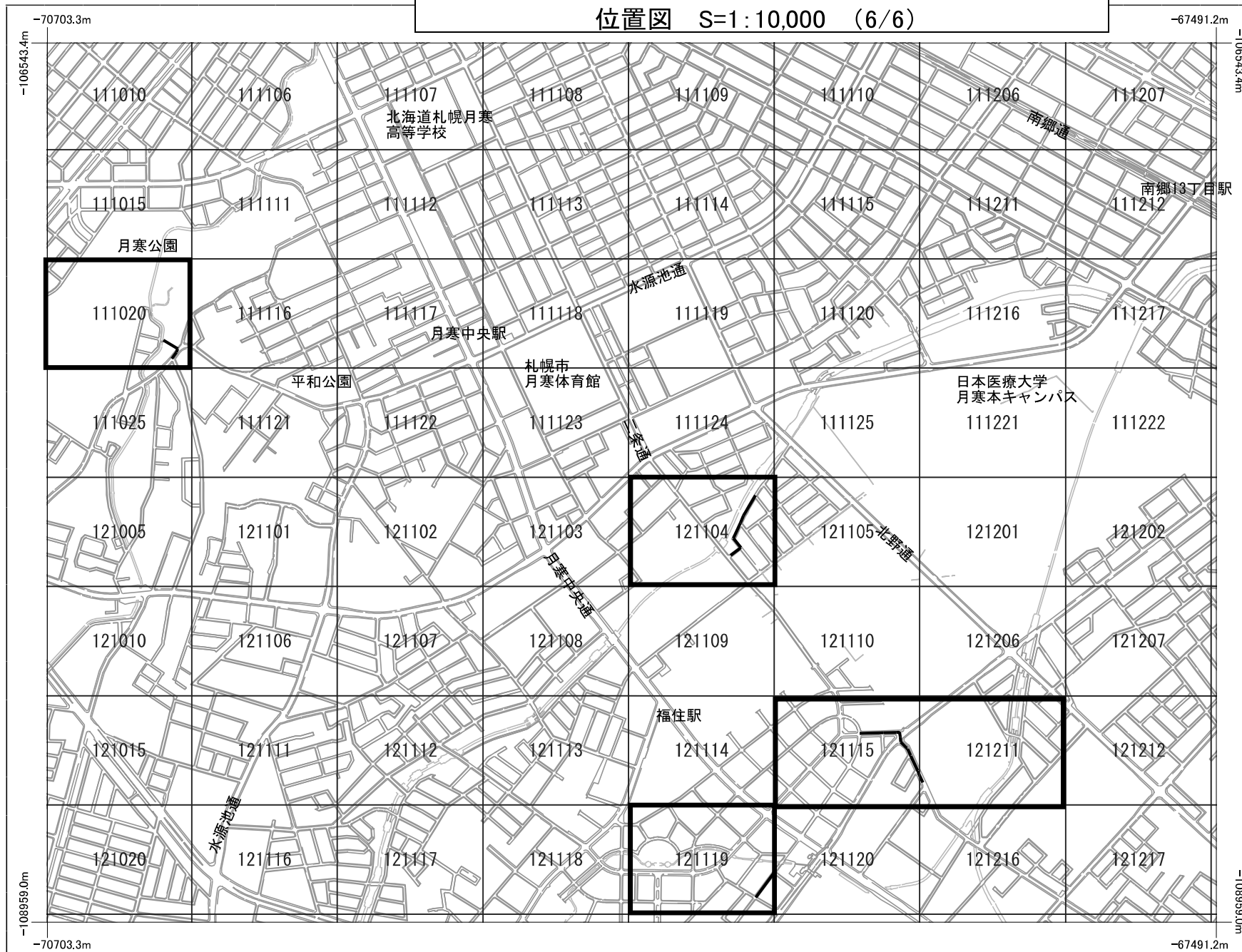
国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務
位置図 S=1:10,000 (5/6)

国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務
位置図 S=1:10,000 (5/6)



国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

位置図 S=1:10,000 (6/6)



業 務 説 明 書

1, 業 務 委 託 理 由

2, 調 査 番 号

本業務の調査番号は、 6255 とする。

3, 業 務 箇 所

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 南区常盤3条1丁目 | (2) 南区藤野2条8丁目 |
| (3) 南区藤野2条6丁目 | (4) 豊平区月寒東1条16丁目 |
| ほか | |

4, 業 務 概 要

総延長 L=4, 983m

- | | | | |
|---------|------------------|-----------|-----------|
| (1) 調査工 | φ 800mm～φ 1680mm | L=4, 983m | (別表1のとおり) |
| (2) 修繕工 | 一 式 | | |

5, 履 行 期 間

契約締結日から令和9年1月12日までとする。

6, 仕 様 書

下水道管路保全業務仕様書【本管調査編】及び大口径管テレビカメラ調査業務仕様書【維持作業編】（共に下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開）、特記仕様書（下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書を含む）による。

特 記 仕 様 書

1, 交通誘導警備員について

交通誘導警備員は、下記に示す人員を見込んでいる。現地の状況、その他関係機関との協議により

配置人員の増減、追加等が生じた場合は、業務監督員と別途協議すること。

	調査箇所	標準作業帯	工種	配置人員	誘導員種別
	公安委員会 認定路線及 び市街地	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
		夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
	上記以外	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B
		夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B

※ 市街地とは人口集中地区（DID地区）及びこれに準じる地区を指す。

※ 現道に係る調査路線においては、交通誘導業務は原則として、警備業の認定を受けている会社に
所属する警備員が行わなければならない。

※ 交通誘導警備員Aとは、交通誘導警備業務1級または2級検定合格警備員で、交通誘導警備員B
とはそれ以外のものをいう。

※ 公安委員会認定路線及び市街地での作業時には、交通誘導警備員Aを1人以上配置すること。

また、業務監督員に交通誘導警備員Aとしての資格が分かる資料を提示し、確認を受けること。

※ 市街地（公安委員会認定路線を除く）において交通誘導警備業務を行う場合で、検定合格警備員
の配置が困難な場合は、その理由書と交通処理計画を業務監督員と協議し、対応を協議しなければ
ならない。

2, 履行開始日について

本業務の履行開始日は、令和8年8月26日と想定して、履行期間の設定及び積算を行っているが、

履行開始日が想定した日と異なったとしても設計変更の対象とはしない。

3, 産業廃棄物等の処理運搬等について

受託者は、下水道管内に作業上支障となる産業廃棄物等を発見した場合は業務監督員へ報告し、

その処理運搬等の措置について協議を行うこと。

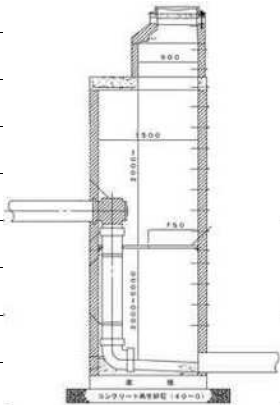
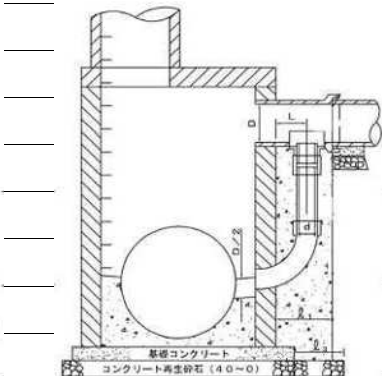
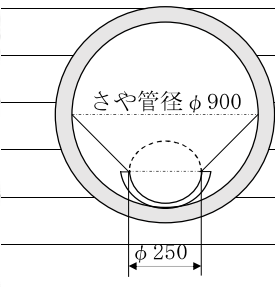
4, 本管調査、維持作業に係る留意事項について

1) 本業務の調査方法については、別表1に示すとおりとする。ただし、現場状況等により困難となった
場合は、業務監督員と協議すること。

2) テレビカメラ調査は大口径管テレビカメラを用いて調査することとし、調査前の洗浄を省略する。
管きょ洗浄を必要とする場合は、別途業務監督員と協議すること。

3) 潜行目視調査について、調査前の清掃を省略するが、管きょ内に土砂等の堆積があり清掃及び土砂処理の
必要がある場合は、別途業務監督員と協議すること。

4) 潜行目視調査における記録写真の撮影は、おおむね10m当り3回（1回あたり直視1枚、側視2枚）
を標準とする。

5)	副管があることが確認された路線については、その旨をテロップ表示するとともに、「TVカメラ調査記録表」内の備考欄に明記すること。（記入例：「外部副管あり」）
6)	現地調査時に管内調査に際してさや管（管内インパート工）等の疑義がある場合は、その旨業務監督員に報告し、指示を受けること。
7)	維持作業（清掃工及び修繕工）の数量については、想定数量であり作業を確定するものではない。 なお、維持作業数量は、本管調査工の結果に基づき業務監督員と別途協議すること。 また、土砂除去工及び修繕工に記載するA、Bの内容については以下のとおりとする。 A：公安委員会認定路線及び市街地での作業 B：A路線以外での作業
8)	維持作業が必要な異常箇所があった場合は、業務監督員に報告し、その指示に従って作業を行うこと。
9)	国道及び幹線道路に位置する路線において実施する維持作業については、令和8年11月末までに終了させること。なお、これにより難しい場合は、業務監督員と協議し決定すること。
10)	前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。
 (内部副管例)  (外部副管例)  (さや管（管内インパート工）例)	
5,	本業務積算時に使用する書籍等について
	・下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020年版 公益社団法人 日本下水道協会
	・下水道管路管理積算資料－2023－ 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
	・土木工事標準積算基準書(共通編)令和7年度版 国土交通省
	・下水道用設計標準歩掛表 令和7年度-第1巻 管路- 公益社団法人 日本下水道協会
	・令和6年度版建設機械等損料表 北海道補正版 一般社団法人 日本建設機械施工協会
	下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開しているもの
	・大口径管調査業務積算単価一覧表【策定単価】
	・札幌市下水道管路工事積算基準 令和7年度12月版

下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書

本業務の清掃工において、発生する汚泥等の収集・運搬に関しては、つぎのとおり適用する。

1, 収集・運搬

(1) 収集・運搬とは、当該清掃業務履行区間において発生する下水道汚泥(土砂・沈砂等)を発注者の指定する受入施設に運搬することをいう。

(2) 受託者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の第14条第1項の業務許可証の写しを契約書に添付すること。また、許可事項に変更があったときには、その旨を発注者に通知するとともに、変更後の許可証の写しを提出すること。

2, 搬出先

下水道汚泥等の搬出先は、下水道河川局手稲沈砂洗浄センター(札幌市手稲区手稲山口271番地5)とする。

また、コンクリートくず等の搬出先は、(株)公清企業 第2エコパーク(札幌市東区中沼町45番地57)とする。

3, 積替保管

受託者は、下水道汚泥の積替保管を行ってはならない。

4. 収集・運搬に関する注意事項

(1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、「産業廃棄物運搬車両であることの表示」と「許可証の写し等の書面の備え付け」を行うこと。

(2) 悪臭の発生防止に努めること。

(3) 他の廃棄物との混合を行ってはならない。

(4) 運搬物が漏出又は飛散しないよう留意し、下水道施設又は路面などが汚染した場合は、受託者の責任において速やかに清掃、洗浄を行うこと。

5, マニフェスト

産業廃棄物管理票制度に従い、発注者の発行する管理票(マニフェスト)に必要事項を記入し、適切な処理を行うこと。

調査数量表

(別表 1)

業務名: 国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

施設重要度	竣工年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	9.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	27.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	80.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	80.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	800	42.70	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	800	79.47	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	800	19.10	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	800	49.50	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤3条1丁目	夜間	雨水	円形管	800	63.12	C	TV
点の施設	平成8年	28年	水車町5丁目	昼間	雨水	矩形管	1680	38.36	C	目視
線の施設	昭和56年	43年	月寒西4条6丁目	昼間	雨水	円形管	900	9.15	C	TV
線の施設	昭和47年	52年	月寒西4条6丁目	昼間	雨水	円形管	1200	42.80	C	TV
線の施設	昭和56年	43年	月寒西4条6丁目	昼間	雨水	円形管	900	21.60	C	TV
線の施設	昭和50年	49年	澄川6条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	3.20	C	TV
線の施設	昭和50年	49年	澄川6条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	62.60	C	TV
線の施設	昭和50年	49年	澄川4条8丁目	昼間	雨水	円形管	900	18.52	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	澄川4条8丁目	昼間	雨水	円形管	800	3.62	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町2丁目	昼間	汚水	円形管	1000	150.00	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町2丁目	昼間	汚水	円形管	1000	71.25	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町3丁目	昼間	汚水	円形管	1000	71.25	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町3丁目	昼間	汚水	円形管	1000	150.00	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町4丁目	昼間	汚水	円形管	1000	73.25	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町4丁目	昼間	汚水	円形管	1000	148.85	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	真駒内上町4丁目	昼間	汚水	円形管	1000	73.66	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	川沿11条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	80.00	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	川沿11条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	7.30	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	川沿11条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	64.30	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	川沿11条3丁目	昼間	雨水	円形管	800	85.00	C	TV
線の施設	昭和51年	48年	川沿10条2丁目	昼間	雨水	円形管	800	6.00	C	TV
線の施設	昭和52年	47年	澄川6条9丁目	昼間	雨水	円形管	1000	108.00	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	澄川4条9丁目	昼間	雨水	円形管	1500	15.05	C	TV
線の施設	昭和52年	47年	澄川6条11丁目	昼間	雨水	円形管	900	67.00	C	TV
線の施設	昭和52年	47年	澄川6条11丁目	昼間	雨水	円形管	900	62.00	C	TV
線の施設	昭和52年	47年	澄川6条10丁目	昼間	雨水	円形管	1000	64.00	C	TV
線の施設	昭和52年	47年	澄川6条11丁目	昼間	雨水	円形管	900	37.00	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東2条15丁目	昼間	雨水	円形管	900	65.21	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東2条15丁目	昼間	雨水	円形管	900	35.00	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東1条16丁目	昼間	雨水	円形管	900	26.78	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東1条16丁目	昼間	雨水	円形管	1000	25.60	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東1条16丁目	昼間	雨水	円形管	1000	21.31	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東1条16丁目	昼間	雨水	円形管	1000	46.48	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東1条16丁目	昼間	雨水	円形管	1000	34.80	C	TV
線の施設	昭和53年	46年	月寒東2条15丁目	昼間	雨水	円形管	900	22.04	C	TV
線の施設	昭和63年	36年	西岡5条11丁目	昼間	雨水	円形管	800	7.40	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	福住3条1丁目	昼間	雨水	円形管	800	86.50	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	真駒内東町1丁目	昼間	雨水	円形管	800	5.70	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	澄川4条9丁目	昼間	雨水	円形管	1500	7.05	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	真駒内東町1丁目	昼間	雨水	円形管	800	4.90	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	真駒内東町1丁目	昼間	雨水	円形管	800	5.80	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	福住3条7丁目	昼間	雨水	円形管	800	3.49	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	福住3条7丁目	昼間	雨水	円形管	800	27.31	C	TV
線の施設	昭和54年	45年	福住3条6丁目	昼間	雨水	円形管	800	3.57	C	TV

調査数量表

(別表 1)

業務名: 国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

施設重要度	竣工年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
線の施設(重要)	昭和54年	45年	石山1条8丁目	夜間	汚水	円形管	900	85.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	常盤4条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	30.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	常盤4条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	30.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	常盤4条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	25.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	常盤4条1丁目	夜間	雨水	円形管	900	60.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	常盤4条1丁目	夜間	雨水	円形管	1000	46.12	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	月寒東2条12丁目	昼間	雨水	円形管	800	46.22	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	月寒東2条12丁目	昼間	雨水	円形管	800	34.88	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	月寒東2条12丁目	昼間	雨水	円形管	800	64.90	C	TV
線の施設	平成4年	32年	川沿10条2丁目	昼間	雨水	円形管	800	3.10	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	月寒東2条12丁目	昼間	雨水	円形管	800	21.93	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	月寒東2条12丁目	昼間	雨水	円形管	800	32.35	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	澄川6条6丁目	昼間	雨水	円形管	800	70.00	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	澄川6条6丁目	昼間	雨水	円形管	800	48.50	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	澄川6条6丁目	昼間	雨水	円形管	800	62.50	C	TV
線の施設	昭和55年	44年	西岡5条11丁目	昼間	雨水	円形管	800	67.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	藤野2条4丁目	夜間	汚水	円形管	900	90.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	藤野2条4丁目	夜間	汚水	円形管	900	75.20	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	常盤2条1丁目	夜間	雨水	円形管	1200	10.70	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	常盤2条1丁目	夜間	雨水	円形管	1200	30.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和62年	37年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	11.80	C	TV
線の施設(重要)	昭和62年	37年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	28.95	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	常盤2条2丁目	夜間	雨水	円形管	1000	14.25	C	TV
線の施設(重要)	昭和55年	44年	常盤2条2丁目	夜間	雨水	円形管	900	20.91	C	TV
点の施設	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	47.83	C	TV
点の施設	平成18年	18年	藤野3条2丁目	昼間	雨水	矩形管	1000	8.20	C	目視
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条9丁目	夜間	汚水	円形管	800	90.40	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条9丁目	夜間	汚水	円形管	800	65.55	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条9丁目	夜間	汚水	円形管	800	42.76	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	6.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条9丁目	夜間	汚水	円形管	800	31.28	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	30.24	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	56.60	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	60.24	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	15.60	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条8丁目	夜間	汚水	円形管	800	59.04	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条7丁目	夜間	汚水	円形管	800	47.75	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条7丁目	夜間	汚水	円形管	800	56.50	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条7丁目	夜間	汚水	円形管	800	47.04	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	63.91	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条7丁目	夜間	汚水	円形管	800	44.42	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	石山2条7丁目	夜間	汚水	円形管	900	25.20	C	TV
線の施設(重要)	昭和54年	45年	石山1条8丁目	夜間	汚水	円形管	900	24.80	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条7丁目	夜間	汚水	円形管	800	52.45	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	61.46	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	69.15	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条5丁目	夜間	汚水	円形管	900	22.96	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条5丁目	夜間	汚水	円形管	900	60.08	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条5丁目	夜間	汚水	円形管	900	61.32	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	59.04	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条6丁目	夜間	汚水	円形管	800	45.63	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	藤野2条5丁目	夜間	汚水	円形管	900	61.00	C	TV

調査数量表

(別表 1)

業務名: 国道453号(常盤3条1丁目)ほか大口径管調査業務

施設重要度	竣工年	経過 年数	住所	作業 区分	排除 方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査 方法
点的施設	昭和55年	44年	常盤2条1丁目	夜間	雨水	円形管	1350	25.89	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条5丁目	昼間	雨水	円形管	800	38.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条4丁目	昼間	雨水	円形管	800	38.00	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条4丁目	昼間	雨水	円形管	800	9.48	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条4丁目	昼間	雨水	円形管	800	4.40	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条4丁目	昼間	雨水	円形管	800	37.73	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	石山1条5丁目	昼間	雨水	円形管	800	38.04	C	TV
線の施設(重要)	昭和56年	43年	常盤5条2丁目	夜間	雨水	円形管	800	53.00	C	TV

昼間: 昼間作業とは、AM9時～PM5時の作業を標準とする。

夜間: 夜間作業とは、PM9時～AM5時の作業を標準とする。

管種のCはコンクリート管、Vは塩ビ管。

調査方法の目視は潜行目視調査、TVはテレビカメラ調査。

管径	円形管		計
	昼間	夜間	
1,500未満	2,520	2,395	4,915
1,500以上～2,000以下	22	0	22
2,000超過	0	0	0
計	2,542	2,395	4,937

管径	矩形管 ※開渠含む		計
	昼間	夜間	
1,500未満	8	0	8
1,500以上	38	0	38
計	46	0	46